

令和7年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉市子育て支援館
条例上の設置目的	千葉市子育て支援館設置管理条例（平成18年千葉市条例第40号） 第1条 本市は、乳幼児の健やかな育成を図るとともに、子育て家庭を支援するため、次のとおり千葉市子育て支援館（以下、「支援館」という。）を設置する。
ビジョン （施設の目的・目指すべき方向性）	乳幼児の健やかな育成や子育て家庭を支援するとともに、地域子育て支援拠点施設の基幹施設としての役割を果たすことで、子育て支援の充実を図り、こどもを産み育てやすい環境を創ること。
ミッション （施設の社会的使命や役割）	- 親子の遊びと交流の場の提供 - 子育てに関する相談や講座の開催 - 子育てに関する情報の収集及び提供 - 子育て支援に係る関係機関との連携 - 特に他の地域子育て支援拠点施設への技術指導や技術支援 - 子育ての相互援助活動の促進及び支援
制度導入により見込まれる効果	本施設では、指定管理者制度導入により、市民サービスの向上を図り、施設利用者の満足度を向上させる効果を見込んでいます。 したがって、市としては、この制度導入効果を達成するため、指定管理者に民間事業者としてのノウハウを活用した質の高いサービスを提供するとともに、魅力的な事業の企画や効果的な広報活動を実施することなどにより、施設の利用促進及び利用者の利用満足度の向上を期待します。
成果指標※	① 施設利用者数 ② 利用者アンケートにおける利用者満足度 ③ ファミリー・サポート・センター提供・両方会員の新規登録者数
数値目標※	① 年間64,000人 ② 80%以上 ③ 毎年50人増
所管課	こども未来局幼児教育・保育部幼保支援課

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	公益社団法人 千葉市民間保育園協議会
構成団体 （共同事業体の場合）	
主たる事業所の所在地 （代表団体）	千葉市中央区中央4丁目5番1号
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年）
選定方法	公募
非公募理由	
管理運営費の財源	指定管理料

3 管理運営の成果・実績

（1）成果指標に係る数値目標の達成状況

	数値目標※	令和7年度実績	達成率※
施設利用者数	年間64,300人 (年間64,000人)	71,283人	110.9% (111.4%)
利用者アンケートにおける利用者満足度	80%以上	87.8%	109.8%
ファミリー・サポート・センター提供・両方会員の新規登録者数	年60人増 (年50人増)	67人	111.7% (134.0%)

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

（2）その他利用状況を示す指標

成果指標	令和7年度実績
相談件数	1,400件
ファミリー・サポート・センター事業の会員数	5,093人
ファミリー・サポート・センター事業の活動件数	6,028件

《参考》

指標	R7実績 (A)	R6実績 (B)	増減 (A)-(B)	前年度比 (A)/(B)	R7 目標値 (C)	達成率 (A)/(C)
施設利用者数	71,283人	66,153人	5,130人	107.8%	64,300人	110.9%
相談件数	1,400件	1,390件	10件	100.7%		
ファミサポ会員数	5,093人	5,019人	74人	101.5%		
依頼会員数	4,190人	4,107人	83人	102.0%		
提供会員数	706人	700人	6人	100.9%		
両方会員数	197人	212人	-15人	92.9%		
入会数(依頼)	532人	452件	80人	117.7%		
入会数(提供)	54人	35件	19人	154.3%	60人	111.7%
入会数(両方)	13人	17件	-4人	76.5%		
ファミサポ活動件数	6,028件	6,332件	-304件	95.2%		

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費 目		令和7年度	【参考】 令和6年度	計画実績差異・要因分析	
				差異	主な要因
指定管理料	実績	68,461	67,665	実績－計画	0
	計画	68,461	67,665	計画－提案	0
	提案	68,461	67,665		
利用料金収入	実績			実績－計画	
	計画			計画－提案	
	提案				
その他収入	実績	167	167	実績－計画	47
	計画	120	120	計画－提案	0
	提案	120	120		
合計	実績	68,628	67,832	実績－計画	47
	計画	68,581	67,785	計画－提案	0
	提案	68,581	67,785		

イ 支出

(単位：千円)

費 目		令和7年度	【参考】 令和6年度	計画実績差異・要因分析	
				差異	主な要因
人件費	実績	53,950	53,198	実績－計画	△ 486
	計画	54,436	53,642	計画－提案	0
	提案	54,436	53,642		(執行率99.1%) 保育士が1名途中退職したため
事務費	実績			実績－計画	0
	計画			計画－提案	0
	提案				
管理費	実績	0	0	実績－計画	△ 155
	計画	155	155	計画－提案	0
	提案	155	155		必要な修繕等がなかったため
委託費	実績			実績－計画	0
	計画			計画－提案	0
	提案				
その他事業費	実績	15,029	15,592	実績－計画	1,039
	計画	13,990	13,988	計画－提案	0
	提案	13,990	13,988		(執行率 107.4%) 全体的な物価高騰のため (リース契約更新等に伴う値上げや保険料の値上げなど)
本社費・共通費	実績			実績－計画	0
	計画			計画－提案	0
	提案				
合計	実績	68,979	68,790	実績－計画	398
	計画	68,581	67,785	計画－提案	0
	提案	68,581	67,785		(執行率 100.5%)

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

--

(2) 自主事業収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費 目		令和7年度	【参考】 令和6年度
自主事業収入	実績	167	184
その他収入	実績	44	44
合計	実績	211	228

イ 支出

(単位：千円)

費 目		令和7年度	【参考】 令和6年度
人件費	実績		
事務費	実績		
管理費	実績		
委託費	実績		
使用料	実績		
事業費	実績	211	228
利用料金	実績		
その他事業費	実績		
本社費・共通費	実績		
合計	実績	211	228

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

--

(3) 収支状況

(単位：千円)

		令和7年度	【参考】 令和6年度
必須業務	収入合計	68,628	67,832
	支出合計	68,979	68,790
	収 支	△ 351	△ 958
自主事業	収入合計	211	228
	支出合計	211	228
	収 支	0	0
総収入		68,839	68,060
総支出		69,190	69,018
収 支		△ 351	△ 958
利益の還元額		0	0
利益還元の内容			

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

評価項目	市の評価	特記事項
施設利用者数	B	・施設利用者数について、71,283人と目標値を達成した。 (数値目標の111.4%であるため評価B)
利用者アンケートにおける利用者満足度	B	・特にスタッフの対応に対する満足度が高い。
ファミリー・サポート・センター提供・両方会員の新規登録者数	A	・新規登録数について、提供会員は54人、両方会員は13人、合計67人と目標値を達成した。 (市設定の数値目標の134.0%、指定管理者の設定数値の111.7%) ・提供会員数についても、令和6年度と比較して増加しているため、評価をAとする。

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。）
B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。）
C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満
D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満
E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

- A：選定時の提案額から10%以上の削減
 B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減
 C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減
 (D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)
 -：対象外(市の指定管理料支出がない。)

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	自己評価	市の評価	特記事項
1 市民の平等利用の確保	C	C	届出及び使用許可申請について、適正に処理されている。
2 施設管理能力	C	C	(1)概ね提案書通りの職員配置が行われている。 (2)概ね提案書通りに職員研修等が行われている。 (3)安全かつ安心して利用できるよう、常に管理され清潔な状態が保たれており、備品についても破損した場合等適切に対応されている。 引き続き、石鹸での手洗い励行やおむつ交換台の消毒など徹底し、標準予防策を継続しながら運営が行われている。
(1)管理運営の執行体制			
ア 配置体制			
イ 専門資格者の配置			
(2)従業員の能力向上			
(3)施設の保守管理			
ア 設備管理			
イ 保安警備			
ウ 清掃			
エ 備品等保守管理			
オ 消耗品の管理			
3 施設の適正な管理	C	C	(1)各種関連規定に基づく運用を適切に実施している。 (2)管理運営マニュアルに緊急時の体制・対応を定め、非常時に備えている。
(1)関係法令等の遵守			
ア 個人情報保護			
イ 情報公開			
ウ 行政手続きの明確化			
エ 労働条件確保			
(2)リスク管理・緊急時対応			
ア 事故、火災等への対応			
イ 防災対策、災害時の対応			
4 施設の効用の発揮			
(1)開館時間・休館日	C	C	(1)千葉市子育て支援館設置管理条例第4条の規定どおり開館した。 (2)館内ご意見ポストだけでなく、新規来館者や年4回の来館者へのアンケートの他、イベントごとにアンケートを実施し、また、アンケート結果等を踏まえ、管理運営に関する自己評価を行い、運営に反映した。来館者に対しては常に誠実かつ積極的に対応しており、アンケートからも好感を得られていることがわかる。
(2)利用促進の方策			
ア 市民ニーズの把握、利用者意見の聴取			
イ 自己モニタリング			
ウ きぼー他施設等との連携			
(3)施設の事業の効果的な実施			
ア 人員配置(地域子育て支援センター事業)	C	C	概ね提案書通りの人員配置が行われている。
イ 人員配置(利用者支援事業)			
ウ 人員配置(ファミサポ事業)			
エ 地域子育て支援センター事業	C	C	・あそびの講座「わいわいひろば」(180回)及び育児講座「なごみひろば」(54回)、イベント(24回)をほぼ提案書通りに実施した結果、1日当たりの利用人数は、概ね231人となっている。 ・また、講座等の開催手法について、対面・オンラインの特性を効果的に活用し取り組んだ。 ・育児不安等子育てに関する相談・指導を実施した。(来館相談件数 1,400件) ・地域子育てサークル等への出張ひろばを実施し、活動内容の支援を行った。
親子の遊びと交流の場の提供			
子育てに関する相談指導			
子育てサークル・ボランティアの育成・支援(13回)			
子育てに関する講座等の開催(あそびの講座週2回以上、育児講座毎週水曜日、イベント月1回)			
子育て情報等の提供			

	オ 基幹施設業務		C	C	・地域子育て支援拠点施設との連絡会議を3回開催した他、施設へのアドバイスなどを適宜行った。 ・地域子育て支援拠点施設職員のニーズに合わせたテーマを設定し、4回研修を行った。 ・基幹業務や利用者支援事業の一環として、子育て支援施設情報交換会を年2回開催し、運営支援に努めた。
	支援センター等との連絡会議の開催(3回)				
	支援センター等の実績とりまとめ及び報告				
	支援センター等の職員を対象とした研修会の開催(4回)				
	カ 利用者支援事業		C	C	・子育てコーディネーターによる個別ニーズに応じた情報提供や、個別相談対応を実施した。 ・関係機関との緊密な連携を図るネットワーク会議を実施した。 ・育児講座等で子育てに関する各種事業案内の提供を行った。 ・子育て支援施設情報交換会を年2回開催し、情報交換の場を設け、連携を深めた。
	子育て関連情報等の収集及び提供、利用支援				
	関係機関との会議の開催・運営				
	広報啓発の実施				
	キ ファミサポ事業		C	C	・会員数5,093人で、前年度比 74人増 ・主に提供会員の区分で会員が増加し、成果目標を達成することができた。 ・子育てリラックス館などでの出張説明会の実施による事業周知や、依頼需要の高い地区へ出向くなど、提供・両方会員の増加に向けた広報を積極的に行った。 ・活動件数は6,028件で、前年度比 304件減 ・主に保育所や習い事等への送迎や帰宅後の預かりの活動数が減少した。 ・概ね提案書通りの活動が実施された。 ・千葉市、市原市、四街道市での3市連携について、ウェットティッシュを配布し周知を図った。 ・ひとり親家庭等支援事業についてチラシ等を配布し周知を図った。 ・依頼需要度が高い地域(美浜区地区の高齢者向けマンションへの広報提案を実施した。 ・入会手続きを電子申請で行えるようにし、手続きの簡略化を図った。
	会員の相互援助活動に対する研修及び指導				
	会員間の交流会の開催				
	アドバイザーとサプリーターによる会議の開催				
	会報誌の発行				
	市原市及び四街道市との3市間連携				
	ひとり親家庭支援事業の実施及び広報				
	(4) 自主事業の効果的な実施		C	C	・「赤ちゃん簡単ヘアカット」、「ベビーマッサージ」などの講座について、概ね提案通り実施し、年間58回開催した。 前年度比 1回減
	5 その他提案事項		C	C	発注、調達等がある場合、可能な限り、市内業者に依頼している。
	(1) 市内業者の育成				

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
 B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
 C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
 D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
 E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) こども未来局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
・市による評価のとおり、おおむね良好な管理運営が行われていると認められる。 ・昨年度の当委員会意見を踏まえた対応を適切に図っており、評価する。 ・指定管理者の財務状況について、現状において特段の問題はないと認められる。 ・さらなる利用促進のため、他施設との連携や周知方法の工夫について、より一層努められたい。	令和6年度	・きばー内にある「千葉市科学館」と連携し、ワークショップイベントを共同開催したほか、千葉大学と「官民学連携 調査研究事業」を行い、子育てに関するアンケートを実施した。 ・そごう千葉店において「子育てサロン」を開催し、親子同士の交流の場を設けるとともに、子育て支援拠点事業の周知を図った。

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	1 調査方法 (1) 「はじめましてアンケート」初めて来館した方に配布 (2) 「支援館アンケート」来館者に配布 (3) 「ひろば・イベント・出張ひろば等のリアクション」参加者に配布 (4) 「ご意見ポスト」館内の意見ポストに投函 (5) 利用者支援事業にて配布
	回答者数	2 回答者数(述べ) (1) 502人 (2) 185人 (3) 1,653人 (4) 6人 (5) 38人 3 実施時期 (1) (3) (4) 通年、(2) 6・9・12月・3月 (5) お父さんと遊ぶうにて
	質問項目	4 質問項目 ・利用目的、興味のある活動内容等 ・各コーナーの利用状況、満足度、スタッフの対応等 ・参加回数、ご意見・感想等 ・自由記述（館内設備、職員、事業等に対するご意見・要望等） ・参加理由、子育て支援に対する要望等
	結果	1. はじめましてアンケート (1) 利用目的「親子で遊ぶため」68.0%、「友達をつくるため」9.0%、「子育て情報を得るため」8.8%、他 (2) 興味のある活動内容「わいわいひろば／なごみひろば」56.1%、「イベント」15.1%、「相談」10.8%他 2. 支援館アンケート (1) 「館内で過ごす時間」は、50%が30分～1時間、41.8%が1時間～2時間過ごすと回答。 (2) 各コーナーの利用状況 4段階評価で、上位1項目の「よく利用する」と回答した割合は次のとおり。 「プレイホール」51.7%、「創作コーナー」12.9%、「絵本コーナー」18.1%、 「ままごとコーナー」26.3%、「親子サロン」13.0%、「乳児室」42.0%、他 (3) スタッフの対応等 5段階評価で、上位2項目の「大変よい」「よい」回答した割合は次のとおり。 「受付でのスタッフの対応はいかがですか」97.3%、 「ホール内でのスタッフの対応はいかがですか」96.2%、 「スタッフに気軽に相談しやすい雰囲気ですか」92.8% (4) 目的に対する満足度 5段階評価で、上位2項目の「そうになっている」「少しなっている」と回答した割合は次のとおり。 「子どもが楽しく遊べる場所」98.9%、「他の親子と交流する場所」84.4%、 「悩みを気軽に相談できる場所」76.1%、「子育てに関する情報を得る場所」82.8%、 「子育てについて学べる場所」83.9%、「親同士で情報交換や話ができる場所」77.7% ※管理運営の成果・実績「利用者アンケートにおける利用者満足度」での実績は上記(3)(4)の9項目により算出した。 3. ひろば・イベント等のリアクション なごみひろば、わいわいひろばの参加回数「初めて」31.1%、「2～4回」37.8%、「5回以上」31.1% (各イベントについてのアンケートは事業報告書のとおり) ※なごみひろば 子どもの基本的な生活習慣や、仕事と育児の両立、イヤイヤ期など関心事をテーマにし、話し合いながら学ぶひろばとなっている。 ※わいわいひろば 親子で一緒に遊びを体験し、自宅での遊びのレパートリーとして活用できるよう実施している。子どもの年齢、発達に合わせた遊びを楽しんでもらえるよう年齢・月齢別にクラスを分けている。 ※イベント 「お父さんとあそぼう!」「おはなし花かご」等。 4. ご意見ポスト 6件のご意見・ご感想をいただいた。ご意見については、定期的にホームページと館内に「みなさまの声」として、館長からの回答と合わせて掲示。 5. 利用者支援事業 父親向けイベントを何で知ったか「パートナーからの情報」が44.7%、「インターネット」が28.9%

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
夏場、大人は靴下を着用してほしい。	施設内が主にフローリングであるため、子どもだけでなく、大人であっても靴下によって転倒する可能性もある。そのため、靴下着用に関しての制限は行わず、利用者判断に任せている。
手洗いがセンサー式のため、奥まで手を出さなければ水が出ず、子どもが手を洗うのが大変そう。	(踏み台はすでに設置されており、主に保護者が子どもを抱きかかえて手を洗う際のご意見。) センサーの範囲拡大については難しいため、子どもが手を洗う間、コップをセンサーが反応する位置に置いて水が流れ続けるように対応。
ミルクをさます用の水を自販機に入れてほしい。	館内の自動販売機で購入可能であること、及び、ミルクを冷水で冷ます場合はスタッフがサポートすることを案内。

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

総括評価	C	所見	- 施設運営、管理共に良好に管理できた。 - 広報誌IPやSNSを活用した利用者促進及び情報提供を行い2026年から開始する利用者登録による情報一斉送信機能の準備を行った。 - 中央区福祉イベントに参加し、重層的な連携を図った。 - 基幹業務では千葉市の子育て支援施設職員の学びの場として他市の視察研修会企画した。また利用者支援事業の一環として、子育て支援施設情報交換会を昨年から引き続き年2回開催し、連携を深めた。 - 他機関と共催し育休中家庭が繋がり学べる場を提供した。 - ファミリーサポートセンター事業では昨年度に引き続き依頼需要の高い美浜地区における提供会員獲得を目的として、高齢者向けマンションへの広報提案を実施した。 - 入会手続きを電子申請で行えるようにし手続きの簡素化を図った。義務化された虐待防止に関する会員研修会を開催した。
------	---	----	---

(2) 市による評価

総括評価	C	所見	- 指定管理者として引き続き指定された第4期の4年目である。 - 来館者数は、71,283人であり、提案のあった目標数値(64,300人)を達成している。 - 年々就学前児童数が減少し共働きの家庭が増え、親子で支援館のような施設を利用するきっかけが少なくなる中、周知の強化や日々の業務に取り組んでいただいている結果であると考えられる。 - 利用者アンケート結果からは、引き続き高い満足度が得られていることがわかり、評価できる。 - 地域子育て支援センター等の基幹施設として、他施設の統計の取りまとめ、翌月に実施する講座等の情報収集、ホームページ、X(旧Twitter)での情報発信の他、定期的な連絡会議等を開催し、他施設との連絡調整や、職員へのアドバイスをを行うなど、その役割を果たした。 - ファミリー・サポート・センター事業については、前年度より全体会員数が増加し、提供会員数も増加した。子育て支援拠点施設等へ出張説明会や、依頼需要の高い地区へ出向き、提供・両方会員の増加に向けた広報を行う等、会員確保に向けて積極的に取り組んだ。 - 入会手続きの電子化や、全体交流会や研修などの対面・オンラインのハイブリット開催など、会員が参加、活動しやすくなるよう努めた。 - 満足度の高いサービスを継続的に提供するとともに、対面とオンラインのそれぞれの特性を生かした取り組みの実施やSNSによる情報発信を充実させるなど、一定の成果を上げたので「C」評価とする。
------	---	----	--

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
 B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
 C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
 D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
 E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) こども未来局指定管理者選定評価委員会の意見

- (ア) 市による評価のとおり、概ね良好な管理運営が行われていると認められる。
 (イ) 科学館や大学など他施設との連携事業の取り組みや、商業施設における「子育てサロン」の実施など、昨年度の当委員会意見を踏まえた対応を適切に図っていると認められる。
 (ウ) 指定管理者の財務状況について、現状において特段の問題はないと認められる。
 (エ) 施設利用者数や利用者満足度等が計画を上回ったことを評価する。
 (オ) 利用者の属性に応じた情報提供や、オンラインを活用した利用者の満足度等の把握に、より一層努められたい。